

令和4年度 第2回 大阪公立大学医学部附属病院長候補者選考会議 議事録

日 時： 令和4年9月1日(木) 16時～17時

場 所： 大阪公立大学医学部学舎1階応接室

5 出席委員： 木野昌也、福島伸一、鶴田大輔、角俊幸、南條幸美、東山潔、松田公志

議 事：

1. 第1回議事録案の確認

10 議長：まず、前回第1回議事録の確認をしたいと思います。既に事務局から送られており、目を通していただいていると思います。本日は、お名前がアルファベットになっております。目を通していただき、変更がないか確認ください。

F委員：内容はこれでいいですが、抜粋したものではなく、このままホームページに出すのでしょうか？

15 A委員：どういう発言をしたかも含め、非常に詳細に記載がありますが、このように詳細なものを作っているのでしょうか？

事務局：国の審議会でも個人名を出して発言の一字一句を公表されており、前回の病院長選考でも、選考委員より、詳細を出すべきだとして、途中からこのような形態での議事録を作成するようになりました。今回もその流れを踏襲した次第です。

議長：この内容でいかがでしょうか。

20 各委員：異論なし

議長：ではこの内容でホームページに公開となります。もし委員会終了までに、修正点があるようでしたら、お知らせください。

2. 資格等の確認

25 議長：8月31日17時に推薦が締め切られました。推薦状況について、事務局より説明をお願いします。

事務局：資料2をご覧ください。8月18日に公示が行われ、8月31日17時に締め切りました。推薦されたのは1名です。推薦書は、代表者1名、推薦者4名で1通となりますが、推薦書は全部で10通届き、10通とも同じ人を候補者として推薦しているという状況になっております。ただし、1通は5名の推薦が必要なところ3名の署名しかなく無効となります。(この後、推薦書、同意書、所信表明書、履歴書の書類を確認)。

議長：書類内容について、ご質問等ありますか？

議長：特にご意見はないようですので、資料3の確認表をご覧ください。この内容について、事務局より説明をお願いします。

35 事務局：必要書類に不備があるかどうかを事務局で確認しました。推薦書類の漏れや不備がないかを事務局で確認しております。また資格条件として選考規程第7条の候補者

の資格等、事実として確認できる内容を、事務局で表に確認内容を記載しております。

改めて委員の皆さまに確認をお願いいたします。

議長：これらの項目において、選考資格は満たすと思いますので、よろしいでしょうか？

各委員：異論なし

5 議長：では候補者はこの項目での資格は満たしていると思います。

3. 選考会議からの追加候補者について

議長：選考規程によれば、この選考会議から候補者を追加することができますが、いかがでしょうか。皆さんの方から追加候補者はありますでしょうか。

10 F委員：これだけの推薦がある候補者なので、特に追加はいらないと思います。

議長：他の委員はいかがでしょう。

各委員：追加はなしでよい。

議長：では選考会議からの追加はなしとさせていただきます。

15 4. 今後の流れについて

議長：次に今後の流れについて、事務局より説明をお願いします。

事務局：第1回選考会議、公示、推薦締切が終わりました。第2回が本日となり、この後、プレゼン内容等を決めていただきます。プレゼン内容が決まりましたら、候補者に案内をお送りします。プレゼン資料は、プレゼンの日であります第3回の選考会議の3
20 日前の午前中に事務局に提出してもらいます。提出されましたら、速やかに選考委員にお送りいたしますので、プレゼンまでにお目通しいただければと思います。第3回の選考会議では、プレゼンテーションと質疑応答を行っていただき、その後、選考を行い、報告内容をある程度まとめていただければと思います。その内容を事務局で報告書案として落とし込みますので、後日、第4回の選考会議として、メール審議いただければ
25 と考えております。その後は、学長への推薦、選考結果の公表、理事長への申し出、役員会での意見聴取を経て、10月1日の着任を目指したいと考えております。

議長：事務局から説明がありました選考の流れで、いかがでしょうか。こちらで良いでしょうか。質問はありませんでしょうか。

各委員：異論、質問なし

30

5. プレゼンテーション、質疑応答について

議長：プレゼンと質疑応答は第3回で行います。あらかじめ時間も決めますので、プレゼンのテーマと質問をどなたがどのような質問をするか、決めたいと思います。

35 F委員：まだ資料は途中までしか読んでいないですが、所信表明が重要だと思います。所信表明書で書き足らなかった内容などを、ここでアピールしてもらえればよい。質問は同じことを聞くことがないよう、誰がどの内容を質問するかを決めておけばよい

でしょう。または事前に決めず、その場でやり取りをすることもありかと思います。パワーポイントは、ページ数もありすぎても、どちらも大変なので、5ページ程度に制限してもよいと思います。時間は30分は長いだろうし、10分は短いと思いますので、15分から20分程度が妥当ではないでしょうか。

5 A委員：公立大学病院になって、この病院をどう運営していくのか、何を大事にして進めていくのかを聞いてみたいと思います。その意味でも所信表明を聞いてみたい。その中には地域医療、医療安全、しばらく続くであろう感染対策、大学病院の重要な課題である働き方改革などの項目も入ってくると思います。

10 E委員：前回の質疑応答10分は短いと思いますので、教授選考と同様にプレゼン20分、質疑応答20分ぐらいあった方がよいと思います。資料6の項目は標準的な評価項目になっているのでしょうか？

事務局：資料6の項目は、選考規程の第7条の項目を案としてピックアップしたものです。どういう観点で評価、選考いただくかは、委員の皆さんで議論いただければと考えております。

15 E委員：これらの項目と所信表明などを合わせて、質疑応答の内容とテーマを決めればよいと思います。

20 C委員：前病院長は、急性期に特化していく病院の運営方針でしたが、新しく病院長になる方は、その方向性をどうしていきたいかを聞ければいいと思いました。また、所信表明書では、地域医療のことの記載が少なかったもので、地域医療の中で附属病院をどうしていくのか、その辺りも聞ければいいと思います。

D委員：今回は候補者が1名で比較する必要がないので、所信表明中心でよいと思います。時間もプレゼン15分、質疑15分でもよいでしょう。ただ新たな規程では病院長の任期と更新の回数が限られていますので、継続性のある病院の課題への取組、例えば病院の建て替えなど、20年後などの長期ビジョンを示してもらいたいと思います。

25 B委員：現在コロナ禍ですが、収束した後の病院経営の取組について聞いてみたいと思います。後の議論になりますが、病院の教職員に聞いていただくなら、教職員へのメッセージとなるので、組織としての一体性、風通しの良い組織づくり、強いリーダーシップの発揮などを発信する機会にしてもらってもよいと思います。

30 A委員：院内の方に聞いてもらえることになるのでしょうか。前はどうかだったのでしょうか。

事務局：前は現地またはWebでの聴講を可能としておりました。聴講の対象は候補者の推薦ができる診療科部長等、職員の課長代理級以上のみとしておりました。聴講の対象は、選考委員で決めていただいても結構です。選考なので選考委員のみにするというのも構いません。

35 F委員：今回は、信任、不信任を決める絶対評価での選考となります。もし病院長として就任した際には、病院長として病院全体に対して発信すると思いますが、今回はそれ

とは別に、推薦資格者に対しては所信表明として説明してもらってもよいのではと思います。質疑の部分は議論があろうかと思います。

A委員：せっかくの機会ですので、職員に聞いていただいて、気持ちを一つにする機会があった方が大学としてよいと思います。

5 E委員：今回の選考過程ではオープンにする姿勢が問われると思います。

議長：では聴講できる方には会場に来ていただいて、来場できない方にはWebで見ていただくという形でよろしいでしょうか。

A委員：スライドなしというのも説明しづらいと思いますし、20分程度の時間をお取りして、本人が言いたいことをしっかり説明する機会を取ることがよいと考えます。

10 F委員：同じ意見です。候補者が自分の想いを語ってもらうのが重要です。病院長になった際には、職員へのメッセージを送ると思いますが、その前段階の位置づけにもなるかと思えます。

A委員：就任された後に、病院長としての所信を表明する機会はありませんよね。

15 F委員：10月1日に着任した際には、大阪公立大学初代の病院長として就任にあたってのメッセージを発信すべきだと思います。いろいろあった中で、院内のみならず、広くマスコミも含めて発信することを検討してはどうかと思います。

議長：公立大学として、広くメッセージを発信してもらえればと思います。我々もそういう形で応援したいと思います。

20 それでは、異論がないようですので、対象の聴講者に聞いていただくかたちでプレゼンテーションをする方向で準備いただけますでしょうか。

事務局：承知しました。

議長：委員の皆様には、プレゼンテーション当日にそれぞれお考えいただいた質問内容を聞いていただくことでよろしいでしょうか。長期的な病院のビジョンについては、D委員から発言がありましたので、D委員からご質問、それから、地域医療における病院の
25 貢献に関してはC委員からでよろしいでしょうか。

D委員、C委員：分かりました。

F委員：私は、院長としてのリーダーシップの発揮と今後の病院経営に関することについて質問したいと思います。

A委員：私は新型コロナウイルス感染症対応と通常診療の対応に関する質問をしたいと思います。

30 E委員：私は皆さんと重ならないように項目に沿って質問しようと考えます。

B委員：私は職員のみなさんへのメッセージとなるような、風通しの良い組織づくりや一丸となって運営していくといったメッセージをお聞きしたいと考えています。

F委員：病院としては、研究開発と先進性という面で質問をすることが良いと思います。所信表明に書いている部分は確認しておいた方がよいと考えます。

35 議長：それでは私は、最後に大学における研究開発に関する質問をしたいと思います。

A委員：所信表明で説明された部分と用意した質問が重なる場合もあるかもしれません。そ

のような場合は、プレゼンで説明された部分を掘り下げたり、触れられていない部分を深く聞いたりという対応も必要になるかと思えます。

D委員：やはりプレゼンを聞いてみないとという気もします。

5 F委員：ここであまりガチガチに決めるといよりは、委員の中で質問のイメージの共通認識を持って、当日はプレゼンを聞いて、各委員がアレンジしながら質問するという対応が望ましいのではないのでしょうか。一つ気になることとしては、プレゼンは聴講者に公開するとしても、質疑応答も公開とするかという点です。

議長：人柄が分かって良いという面もあるのではないのでしょうか。

10 D委員：今回の選考は、透明性という点が第一と考えています。これまで半年間いろいろな問題があった中で、これだけ開かれた選考で決めたという点が必要と考えます。

議長：そういうことで皆様よろしいのでしょうか。

各委員：異論なし

15 議長：それでは、プレゼン及び質疑応答まで公開するという方向性で、事務局の方で今挙げた質問事項をまとめていただき、委員へ提示いただくことはできませんでしょうか。

事務局：分かりました。箇条書きにしまして、皆様に見ていただくように準備します。

議長：時間はプレゼン 20 分、質疑応答 20 分ということでよろしいのでしょうか。

各委員：異論なし

議長：当日の聴講者については、事務局の方で対応いただくことでよろしいのでしょうか。

20 事務局：聴講者の仕分けはこちらの方でさせていただきます。感染対策も含めて、検討して対応するように致します。

6. 選考方法の検討について

25 議長：プレゼンテーションが終わって、最終的に候補者が病院長にふさわしいかどうかを評価する方法についてはどういたしましょうか？

D委員：プレゼンの後に、委員全員が集まって議論をすることが良いと考えます。

A委員：フリーディスカッションでよろしいかと思えます。

議長：点数付けや評価表へのまとめ等はよろしいのでしょうか？

30 D委員：複数名候補者がある場合は、そのような相対評価の方法が必要になるかとは思いますが、今回は候補者一人となりましたので、病院長候補者の資格に照らし合わせて、満たしているかどうかを議論すれば良いと考えます。

A委員：選考規程がありますので、選考規程の求める資格を満たしているかを確認することはこの会議としては必要なことではあると考えます。

35 B委員：資料 6 の選考様式案にあります項目に従って、意見を集約していくということでしょうか？

事務局：こちらの資料には、先ほどお話がありました、選考規程第 7 条にあります候補者

の資格をもとに項目を並べております。この表を活用いただき、どの点が優れているかを議論をいただきまとめていただくと、選考報告書に記載する際にもまとめやすいのではないかと考えています。

議長：選考報告書に選考結果をまとめる必要がありますね。

5 F委員：プレゼン後に委員が集まって、候補者の資格を満たしていることや優れている点などを議論してまとめたいので、選考報告書にまとめれば良いと思います。事務局の方で、報告書案を作成いただければ良いのではと思います。

B委員：16日のプレゼン後に議論したものを、事務局がまとめて、21日までに各委員にメールで提示いただき、委員がそれぞれ審議するというのでしょうか。

10 事務局：その通りです。できるだけ早くお送りして21日までにご確認いただけるように対応したいと思います。

議長：その他何か気になることがありますでしょうか？

15 事務局：第1回の後にたくさんのマスコミの方がお集りになっていましたが、この第2回の選考会議の後にも取材の申し込みがある可能性があります。その際の候補者に関する情報についての回答方法についてご相談させていただきたいと思います。

F委員：それは9月16日までの対応のことを指していますでしょうか？

20 事務局：ご認識の通りです。昨日募集を締め切ったということは周知の事実ですので、問い合わせがある可能性は高く、候補者の氏名は伏せるにしても、候補者が1名であるという人数とその候補者で選考を進めているというところまでは回答する方向で考えておりますがいかがでしょうか。候補者が1名ということ公表してもあまり選考に大きな影響がないのではないかと考えています。個人名については選考中なので公表できませんという説明を想定しています。

25 F委員：聞かれたら回答するという意味ですか？それともリリースするということですか？

事務局：積極的にリリースをすることは想定していません。聞かれた際の回答方法について伺っています。

F委員：聞かれたときの対応ですね。最終的な公表はどの時点で想定していますでしょうか？

30 事務局：最終的に学長報告した際の公表となる予定です。

F委員：以前学長選考の委員として選考会議に参加していたが、その際はかなり公表に力を入れていた印象でした。そういった対応は良いのでしょうか？

事務局：本日の議事録は、第3回の会議が終わった16日の段階で、候補者名を公表するかどうかという点は、ご相談したいと考えています。

35 F委員：候補者名は要らないと思います。ただ、議事録に候補者名1名であることを書かないということではできないのではないのでしょうか。必然的に公表せざるを得ない

のではないかと考えます。

事務局：F委員のご指摘のとおり、議論の経過で候補者が1名であることはいずれ公表されることですので、当初申し上げた通り、マスコミには候補者が1名であるということは公表しても良いのではないかと考えました

5 D委員：16日までは候補者に関する氏名と人数については伏せておくということが良いのではないかと考えます。本日の会議後に候補者が1名であることを公表した際、氏名を伏せていたとしても、推薦した推薦者は誰を推薦しているか分かっており、候補者が1名であるということが分かれば、その候補者が誰であるかというのは容易に特定ができてしまうと思います。

10 議長：そうなった場合は、まだ選考中であり、何ら決定していない選考が、決まったかのように情報が独り歩きする可能性も十分考えられます。

D委員：2名以上候補者がある場合は、どちらがなるか今後決まるため、人数は言っても良いのではないかとと思いますが、候補者が1名の場合は、次の病院長決定という報道のされ方を考える可能性もあり、言わないことが適切と思います。

15 事務局：それでは、選考中なので、候補者に関する情報は公表しない、ということで対応致します。16日の会議後には、第2回の議事録がオープンになるため、その段階で候補者が1名ということが公表になるという理解です。

A委員：プレゼンは対外的には公開しないという理解でよろしいでしょうか？

事務局：対外的には公開しないという認識です。

20 F委員：その点について提案をよろしいでしょうか。仮に10月1日病院長就任されることになった場合は、プレスリリースするか、学長と同席で就任の記者会見を行うかといったことも検討して良いのではないのでしょうか。折角の機会ですし、これだけ注目された病院長選考なので、PRも含めて学長と同席で記者会見を行った方が法人としては良いのではないかと考えます。

25 事務局：法人と相談するようにします。

7. 次回予定について

事務局：次回の日程の確認をさせていただきます。開始時間をいかがでしょうか。一旦委員の方々には、14時にお集まりいただいて、20分程度質問事項等の議論いただいて、

30 14時30分頃からプレゼン開始ということも案かとは考えます。

F委員：どういった内容を事前に打ち合わせる想定でしょうか。質疑応答の内容の調整や順番をどうするかといったところでしょうか。

議長：プレゼンはどなたが進行するかということもありますでしょうか？

事務局：これまでは進行は議長に行っていたいただいております。

35 議長：分かりました。それでは、質疑の順番については、私の方から質問者にご依頼するかたちでよろしいですね。それであれば、事前の議論の時間はそれほど取らなくて良い

のではないのでしょうか。10分程度は必要かとは思いますが。

事務局：それでは、14時にお集まりいただき、10分程度事前打ち合わせののち、プレゼン開始を14時10分とさせていただこうと思います。

5 E委員：聞き洩らしたかもしれませんが、プレゼンのテーマについて再度確認させてください。明確には決まっていなかったように感じています。

D委員：テーマについては、所信表明の内容についてプレゼンしていただくということで理解しています。

事務局：所信表明書に、どのような内容を記載いただくかという注意書きがありますので、その内容に沿ったかたちでテーマを記載させていただきます。

10 議長：それでは、事務局の方で設定いただき、候補者に案内いただくようにお願いします。委員の皆様には、プレゼン当日までに候補者に関する資料を良く確認いただき、質疑応答ができるようにご準備いただければと思います。

本日はどうもありがとうございました。